

議長（門 瀧雄）

ご異議なしと認めます。

よって本案は、原案の通り可決することに決定致しました。

日程第 15 請願第 1 号 「2014 年 4 月 1 日からの消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願を議題といたします。

これより、先ほどの委員長報告に対する質疑を開始致します。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

議長（門 瀧雄）

質疑なしと、認めます。

これをもって、質疑を終結致します。

これより、討論に入ります。

尾崎忠義君。

議員（尾崎 忠義）

11 番尾崎忠義でございます。

平成 25 年第 4 回多度津町議会 12 月定例会において提出された「2014 年 4 月 1 日からの消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願の件について、賛成の立場で討論をいたします。

今回、国に対し、消費税増税中止を求める意見書の提出を求める請願書として、消費税増税の実施が残り 3 ヶ月余りに迫っている現在、去る 11 月 26 日に中小商工業者団体、丸亀民主商工会より町議会に提出され、総務教育常任委員会に付託されました。前回、消費税増税実施 8 カ月前にも同様の趣旨で、9 月議会に対し陳情書として、去る 9 月 3 日に提出されたところであります。そして、全国の 9 月議会での意見書が可決された自治体が 30 あり、これまで全国で 202 自治体が「消費税増税中止を求める意見書」が採択されております。

ところで 2014 年 4 月からの消費税大増税は、税率を 8%に引き上げるだけでも 8 兆円の増税、年金削減など社会保障の負担増、給付減を合わせれば 10 兆円もの文字どおり、史上空前の負担増となります。

政府は、経済再生と財政再建の両立を図ると言っておりますが、消費税増税が強行されれば国民の暮らしに語り知れない深刻な打撃をもたらし、経済も財政も共倒れの破綻に追い込まれる事は明らかであります。

1997 年に消費税を 5%に増税した際には、国民の所得は着実に増えていました。増税前の 4 年間に平均年収は 21 万円増えていたわけであります。しかし、消費税増税を含む 9 兆円の負担増によって、家計の底が抜け大不況の引き金を引く結果となりました。今回は日本経済は長期にわたるデフレ不況に陥っています。1997 年をピークに国民の所得はずっと減り続け、平均給与は年収で約 70 万円も減少しました。これだけ大きな痛手を長期間にわたって受けている国民

の懐から、史上最大の大増税で所得をさらに減らす、その結果がどうなるかは、すでに火を見るより明らかであり、失われた 20 年と言われるほどの長期の後退、低迷に陥っている日本経済のもとで、それは国民の暮らしと営業と経営を破壊するだけでなく、日本経済を奈落の底に突き落とし、財政危機も一層ひどくすることになる事は誰が考えても明らかであります。

しかも消費税増税による地方自治及び地方行政への影響は、計り知れないものがあり、人件費、扶助費、公債費などの義務的経費を除いた額に課税され、また入場料、利用料、使用料手数料、水道料金、下水道料金など、公共料金にも大きく跳ね返り、地方財政を大きく圧迫するのは必至であります。そして、どのような世論調査でも消費税増税には国民多数の 6 割以上が反対の声が挙がっており、ごり押しする事は民主主義の国として許されるものではありません。そこで国民の暮らしを直接応援して日本経済の危機を打開し、健全な成長への好循環を作るために、働く人の所得を増やす経済改革として、賃上げと安定した雇用の拡大によって経済危機を打開する事であり、税財政と経済の民主的改革によって財源を賄い、社会保障充実と財政危機の打開を図る事であります。具体的には、1、国の浪費の一掃と応能負担の原則に立った税制改革で財源を確保する事であり、2、国民の所得を増やす経済改革で日本経済を健全な成長の軌道にのせ税収入増を図る。この 2 つを同時併行で進め社会保障充実と財政危機打開を図ることこそが、現在の経済、財政、社会保障の危機を一体的に打開する唯一の道であり、暮らしも経済も財政も壊す消費税増税の実施は中止すべきであります。

したがって、平成 25 年第 4 回多度津町議会 12 月定例会に提出された「2014 年 4 月 1 日からの消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願については採択すべきであり賛成をいたします。以上。

議長（門 瀧雄）

他に討論は、ありませんか。

はい。佐々木議員。

議員（佐々木 勇）

ただ今の請願採択に対して、反対する討論を申し上げたいと思います。

2014 年 4 月より消費税率 8% に引き上げる事が政府によって決定されておりますが、国、地方、国民にとっても経済財政と非常に厳しい状況にありますが、それよりも社会保障、原発問題、災害復旧、また農業行政と早く対応して進めて頂きたいとの思いで、消費税アップもやむ迫えないなという思いをいたしております。そういう事で請願を採択する事に反対をいたします。以上。

議長（門 瀧雄）

他に討論は、ありませんか。

(「討論なし」と呼ぶ者あり)

議長(門 瀧雄)

ないようですので、これをもって、討論を終結いたします。

これより、請願第1号についてを採決いたします。

請願第1号に対する委員長報告は、不採択です。

請願第1号を採択することに賛成の方は、起立願います。

(賛成者起立)

議長(門 瀧雄)

起立少数です。

よって、請願は不採択する事に、決定いたしました。